

エンジニアパーク

Engineer Ring Park

30年ほど前、大学4年生だった私は、学科内で最後の3人まで就職が決まらずにいました。そんな時、東京に本社をおく中堅ゼネコンで、大学の先輩という方の訪問を受けました。30代前半だったその先輩は、これまでお会いした会社のどれよりも堂々として自信に満ちあふれているように見え、今まで感じたことのないオーラのようなものを感じました。「技術士」とのはじめての出会いでした。私はゼネコンにほとんど興味がなかったにもかかわらず、その会社に就職しました。

就職後2箇所目の現場は、東京都内で、工期が約半年にもかかわらず請負金が10億円超というハードな工事でした。着工後2ヶ月ほど経過しても思ったように工事は進まず、現場経験が少ない私にも「この現場ダメだな」とわかるほどひどい状況でした。そんな状況の中、30代半ばのある社員が配属されてくると現場は一変し、目に見えて工事は進捗していきました。私にはその人がスーパーマンに見えました。数年後、その人が技術士を取得したことが社内報に掲載されていました。

その後、私は生まれ育った北海道に転勤になり37歳で技術士を取得、40歳で内勤になり総合評価の技術提案を担当することになりました。現場に多少未練はありましたが、総合評価での他社との勝負は、勝敗のはっきりしているところがスポーツに似た感覚で、次第にのめり込んでいきました。

7年前45歳で今の会社に転職しました。資格ではあこがれの先輩たちにならびましたが、私にオーラを感じて一緒に働きたいと思う学生はいるか、私をスーパーマンのように感じる後輩はいるか・・・そこまでは無理としても仕事や社外活動を通じて人に影響を与えられる存在になればと思っています。

塩見 武 (しおみ たけし)

- 建設部門(鋼構造及びコンクリート/トンネル/施工計画、施工設備及び積算)
- 総合技術監理部門(建設)

勤務先

荒井建設株式会社 札幌支店



→次号は、佐々木貴章さん(建設/総合技術監理)

今回は学生時代からの友人である伊藤君、河村君からの数珠つなぎとなりました。人生の半分以上の付き合いの友人達と共に技術士として活躍できている現状を非常に喜ばしく感じております。

私は技術士の中で特に気に入っているところが2つあり、まず1つ目が「相互の協力」です。最初の資格取得の際には「こんなに親身になってくれるの!？」と感じるほど、諸先輩方にはご支援いただき

ました。特に口頭試験は、皆様のご尽力のおかげで合格できました。それもあり友人や後輩の受験の際には最大限協力したいと心から思え、その苦労を経験しただろう技術士の皆様とも協力し合っていたいと感じたところです。2つ目は「継続研鑽」であり、停滞しては技術士が名乗れず、日々研鑽が必要というところです。資質向上が責務なので重圧もありますが、解釈を変えると年齢を重ねても研鑽する後押しと、その機会を与えてくれる非常に恵まれた資格と感じております。さて、私の現職までの生い立ちですが、生まれも育ちも札幌市で、大学卒業後に施工管理や現場調査等を経験し、現職に至っております。建設コンサルタント業に就き早いもので20年を超え、軟弱地盤に関する事項を専門としております。近年は斜面災害に関わる機会が増えており、2つ目の専門性を有する必要性を感じ、それに向け研鑽に励んでおります。一方、学協会へ参加する機会も増えてきたため、技術士会の皆様とお会いすることもあると思いますので、その際は気兼ねなくお声かけていただくと幸いです。

最後に、プライベートは前号の河村君と同じ趣味のベランダ菜園と、愛猫との時間を大事にしております。植物は上手く育たないこともありますが、日々成長を感じられ、とても癒されます。

菅原 正則 (すがわら まさのり)

- 建設部門(土質及び基礎/道路)

勤務先

株式会社構研エンジニアリング
地質部



→次号は、高木 誠さん(建設部門)